

千葉県社保協通信

2023年度—No6 2023年 10月 21日号

〒260-0854 千葉市中央区長洲 1-10-8 自治体福祉センタービル3F

TEL : 043-225-6790 FAX : 043-221-0138 Eメール syaho2022@themis.ocn.ne.jp

住民こそ主人公
くらし安心の まちづくりめざし
海匝地域 (旭市・匝瑳市) に
念願の社保協 誕生！！



海匝地域(旭市・匝瑳市)に県内で16番目の地域社保協が誕生しました。

10月18日(水)14時から、匝瑳市・八日市場公民館にて開かれた結成総会には、地域の年金者組合・新婦人・土建組合・生活と健康を守る会・農民センター・革新懇・9条の会などから20人が参加しました。冒頭、中央社保協の林信悟事務局長がwebで連帯のあいさつ。国の社会保障費抑制政策のもとで、地域から声を届け、制度拡充を求めるたたかいが広がっている。「いのちのとりで裁判」は12地裁で勝訴。介護保険では「軽度者の保険はずし」「ケアプランの有料化」などを押しとどめている。さらに「子ども医療費助成制度」の前進や「保険証の存続を求める」運動の広がりや力を「軍事費拡大でなく、いのち・くらしまもれ」「国の政策を大本から変えるたたかいを今こそ広げよう」と訴え、「新たな地域社保協の誕生は全国の仲間を励ますもの」と激励しました。

つづいて、県社保協藤田事務局長がミニ講演。1994年11月の県社保協再建までの歩みと

社保キャラバンの成果。「社保協運動と地域社保協の役割」について学びました。

県内の「農民一揆」発祥の地 その歴史 受け継いで

総会では、海匝地域は県内の「農民一揆」発祥の地と言われ、国の悪政に立ち向かう歴史的な風土と気質がある地域であり、江戸時代末期の大原幽学の影響もあり、社会的弱者が共同する重要性も育まれた地域でもあったこと。こうした歴史と伝統が受け継がれ、地域医療をよくする運動、子ども医療費無料化、学校給食費の無償化を求める運動、障害者が暮らしやすいまちづくり運動、住宅リフォーム助成、災害時応援協定など自治体の姿勢を変える運動など様々あることが報告されました。さらに幅広く団体・個人に加盟を呼びかけることを確認。活動方針案、予算案、役員体制案が提案され、拍手で承認。会長に小林順一氏、事務局長に長平弘氏を選出しました。

医療・介護・福祉に国の予算ふやせ！！ いのちまもる 10.19 総行動 **東京・日比谷野音**

19日、東京・日比谷野音で行われた「いのちまもる総行動」。集会にはオンライン含め、全国3千人を超える人々が参加。県内からは民医連、保険医協会、医労連、土建などの団体・労組、県と地域の社保協からも参加しました。



会場でのリレートークでは、千葉勤労者福祉会の介護福祉士、門脇めぐみさんが登壇。コロナ禍で介護を必要とする人々の生活を支えてきた介護職の頑張りは限界に達していると発言。岸田首相の示した介護職月6000円の賃上げ方針に「ゼロを1つ付け足して、早急に国の責任で全産業平均並みの給与水準まで引き上げ、介護職の確保につなげる」と訴えました。

閉会にあたり「医療・社会保障の拡充で、いのちと人権を守る政治への転換を」とシュプレヒコール。「集会アピール」を拍手で確認しました。

銀座パレードでは「健康保険証なくすな」のシュプレヒコールに応え、沿道から「そうだ！」「頑張っ！」の声援が寄せられました。